

特集 令和7年度

施政方針と予算

施政方針ってこれからの芦屋なんだ

「対話を中心としたまちづくり」を掲げ、市長に就任してからまもなく2年が経過します。改めて、芦屋の未来を想い、関わってくださるすべての皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

私たちが対話の文化を大切にしているのは、芦屋市をより良くし続けるためには、対話が必要不可欠だと考えているからです。

就任以来、芦屋市民の力、芦屋愛を何度も感じました。そして、確信しました。市民を信じて委ねれば、まちは良くなると。

学校の先生の主体的な探究で授業を変える「ONE STEPpers」。フェード現象による交通事故後の安全対策を市民と行政が一体となって進めた「ライト坂安全ビジョン」。そして、地元市民が行政を巻き込んでまちのビジョンづくりに取り組んでいる「エリアプラットフォーム」。どれも、「対話を行い、市民の方々に信じ、委ねたことで、世の中が良くなり始めた」取り組みです。まさに、みんなで蒔いた種が少しずつ芽吹き始め

ています。

一方で、私たちは厳しく困難な時代の中に生きています。人口減少と高齢化。原油価格・物価高騰。そして、世界中で終わらない戦争・紛争。ときには、目の前の現実から、目を背けたいくなることもあるでしょう。

でも、未来を描く筆を、止めてはいけません。今こそ、持続可能な未来を、ともに描くときです。芦屋らしく、前向きに進みましょう。芦屋ならできる。芦屋市民なら、できるのです。

市長就任3年目に当たる令和7年度は、芽吹きを育て、未来を描く1年です。芦屋市の皆さま、芦屋市が「世界で一番住み続けたいまち」になるその日まで、ともに歩み続けましょう。

私たちは、誰よりも芦屋のことを考え、誰よりも芦屋のために行動し続ける、そのことを、改めてここに固くお誓い申し上げます。

どうぞ、市民の皆さま、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

基本方針

芦屋市長 高島峻輔

～「世界で一番住み続けたいまち」の実現に向けて～



主な事業と取り組み

問い合わせ 政策推進課 ☎38-2127



ホームページ

子育て・教育

- ◆全小中学校にPEACEサポーターを配置します(2,142万2千円) 集団(学級)において過ごしづらさを抱えている子どもに対して、より細やかな支援を行うため、心のケア等の支援を行う職員(PEACEサポーター)の配置を拡充します。
- ◆探究的な学び研究推進チーム「ONE STEPpers」による授業研究を推進します(339万4千円) 質の高い「ちょうどの学び」実現のため、教師の主体的な授業研究を応援し、子どもの主体性を育む授業の推進を目指します。
- ◆子どもたちが快適に過ごせるよう、全小中学校の体育館に空調を設置します(7億9,607万1千円)
- ◆防犯対策のために、学校園の校門にオートロック等を設置します(8,246万7千円)
- ◆教育委員会における顧問弁護士の委嘱により、法務相談体制を充実させます(145万円) 学校での問題をより迅速に解決し、子どもたちが安心できる環境づくりに努めます。



- ◆学校園ネットワークシステムの更新により、セキュリティ向上と、教職員等の多様な働き方を実現します(1億769万9千円)
- ◆学校図書館でも、市立図書館の本を借りられるようになります(1,368万円) 学校図書館と市立図書館をシステム連携し、市内小中学校の子どもたちが、市立図書館の蔵書を自校の学校図書館で借りられるようになります。
- ◆市内すべての鉄道駅周辺で借りた本を返却できるようになります(125万4千円) 「星座の広場」(阪急芦屋川駅北側)に返却ポストを設置します。
- ◆潮芦屋交流センター屋外交流広場人工芝を張替えます(3,200万円)
- ◆より安全に戸外活動ができるよう、西蔵こども園の園庭に遮光ネットを増設します(523万4千円)
- ◆自然を満喫する身近なハイキング道を整備します(1,000万円)



みらいの都市づくり

- ◆神戸市との可燃ごみの広域処理を見据え、環境処理センターの施設更新のための計画策定・調査を行います(2,314万3千円)
- ◆今後の都市整備に向けた調査や検討を行います(1,634万9千円) 安心して快適に住み続けられるまちの実現に向けて、今後の都市整備の方向性を定めるための阪神芦屋駅を中心とする基礎的な調査・検討を始めます。

- ◆JR芦屋駅南地区が生まれ変わります(19億6,222万4千円) 安全で円滑な交通を確保するとともに、本市の南玄関口としてふさわしい魅力のあるまちづくりを進めるため、引き続き早期の完成に向けて市街地再開発事業を実施します。



- ◆住宅の取得・家賃を支援します ～いい家あった! プロジェクト～ (1,870万円) 住宅都市としての魅力を高め、良質な住宅ストックを次世代へ継承するため、新婚夫婦およ

福祉・防災

- ◆訪問看護師・訪問介護員が安心して働けるように労働環境を整備し、人材の確保・定着を促進します(50万5千円)
- ◆介護現場のケアプランデータ連携システム導入を支援します(256万6千円) 介護現場における業務の効率化などにより、働きやすい環境づくりを推進します。
- ◆障がい福祉サービス提供事業所職員の研修費を一部補助します(110万円) 新たな職員の確保と質の向上を図り、安定した質の高いサービスを供給するため、研修の受講費用の一部を補助します。
- ◆子どもの学びをサポートします(子どもの学習・生活支援事業) (850万円) 生活困窮世帯のこどもの将来の自立に向け、学習や日常生活、保護者への包括的な支援を行います。
- ◆HPVワクチンのキャッチアップ接種の経過措置を設けます(4,145万1千円) キャッチアップ接種期間中に1回以上接種している方について、期間終了後も無料で1回または2回の接種ができるよう、経過措置を設けます。



び子育て世帯に対して、住宅取得等に係る費用の一部を補助し、市内居住を支援します。

- ◆市営大東町住宅をリノベーションして有効活用します ～いい家あった! プロジェクト～ (1,500万円) 市営住宅の空き住戸をリノベーションし、若者・子育て世帯向けにターゲットを絞った住宅を用意することで住まいの選択肢を広げ、住宅都市としての魅力の発信に取り組みます。